

みんなの健康ラジオ

『補聴器を使った耳鳴りの最新治療①』

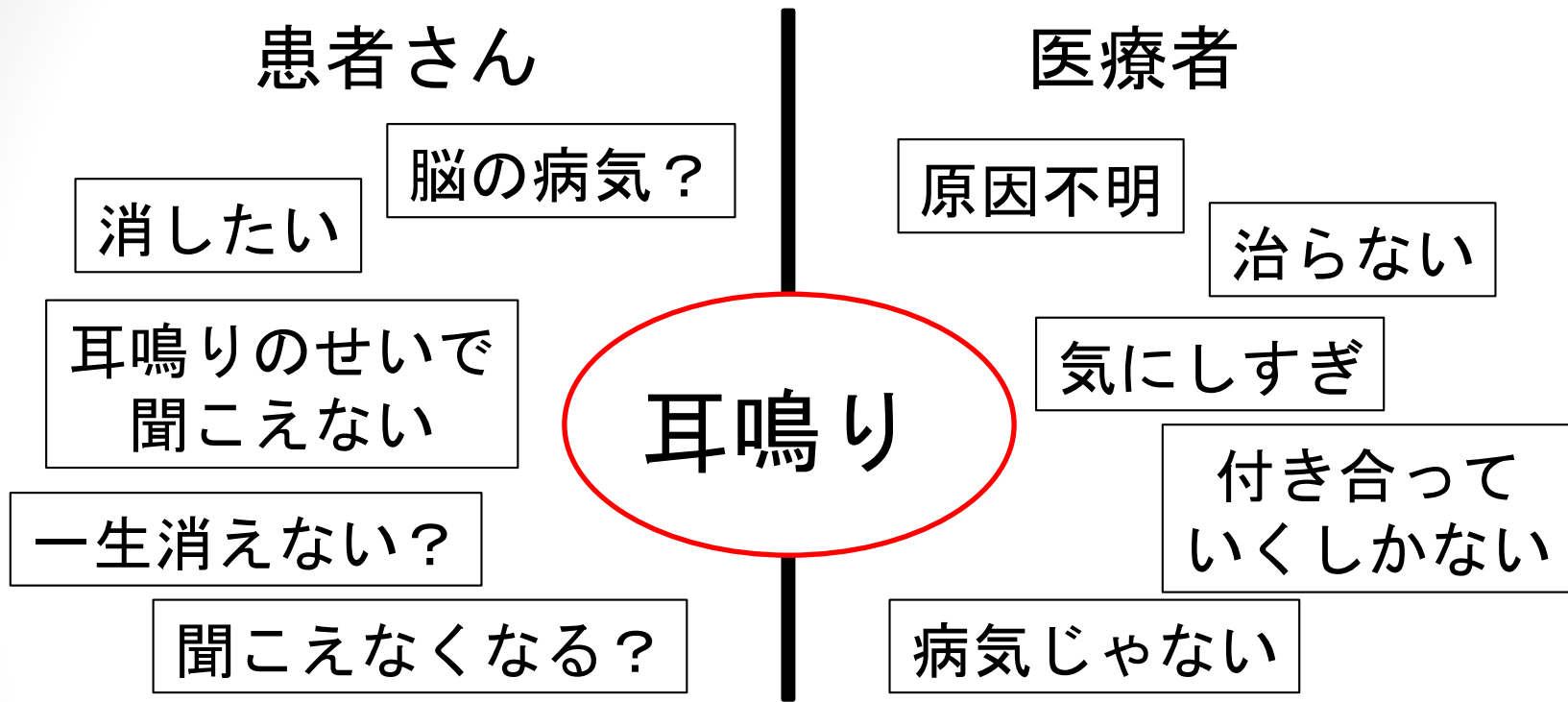
(2017年11月30日放送)

横浜市耳鼻咽喉科医会

けいゆう病院

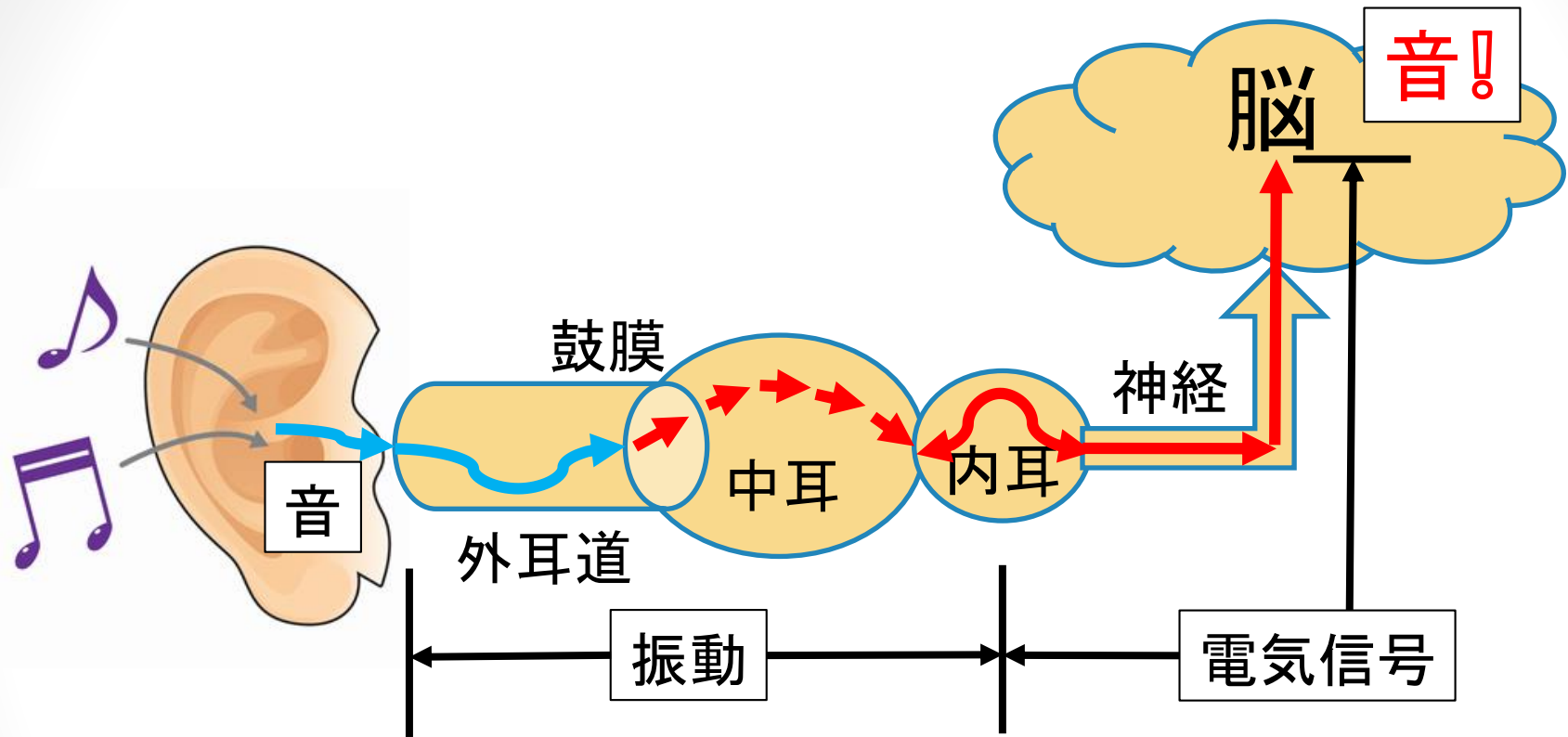
山田浩之

耳鳴りのイメージ



耳鳴りは「原因不明で治らないもの」と考えられていました。しかし研究の進歩により**耳鳴りの原因**が解明され、原因に対する**新しい治療法**も開発されつつあります。

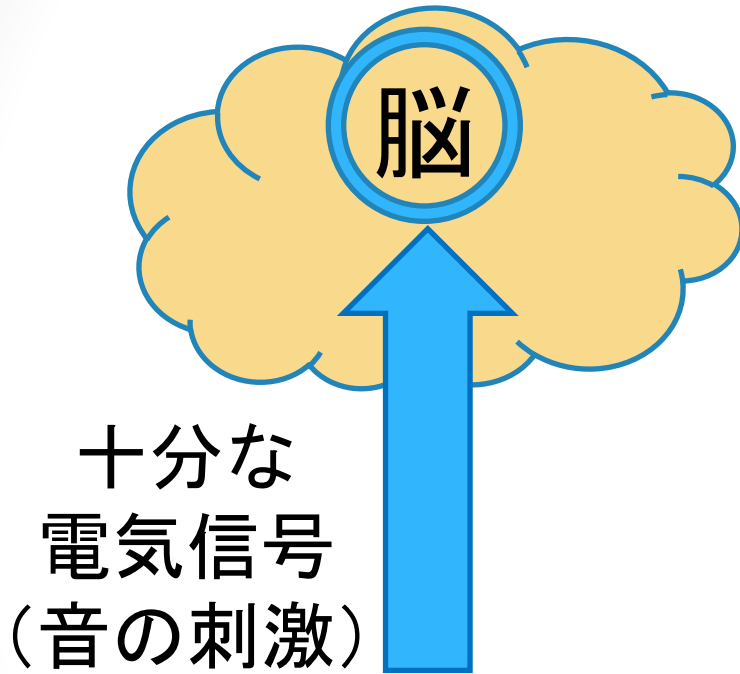
音は耳ではなく脳で聞いている



音の**振動**は外耳道-鼓膜-中耳と伝わり、内耳で電気信号に変換されます。**電気信号**は神経を伝わり、脳にまで届き、そこで音として認識します。耳は音を拾って伝えているだけで、音は脳で聞いているのです。

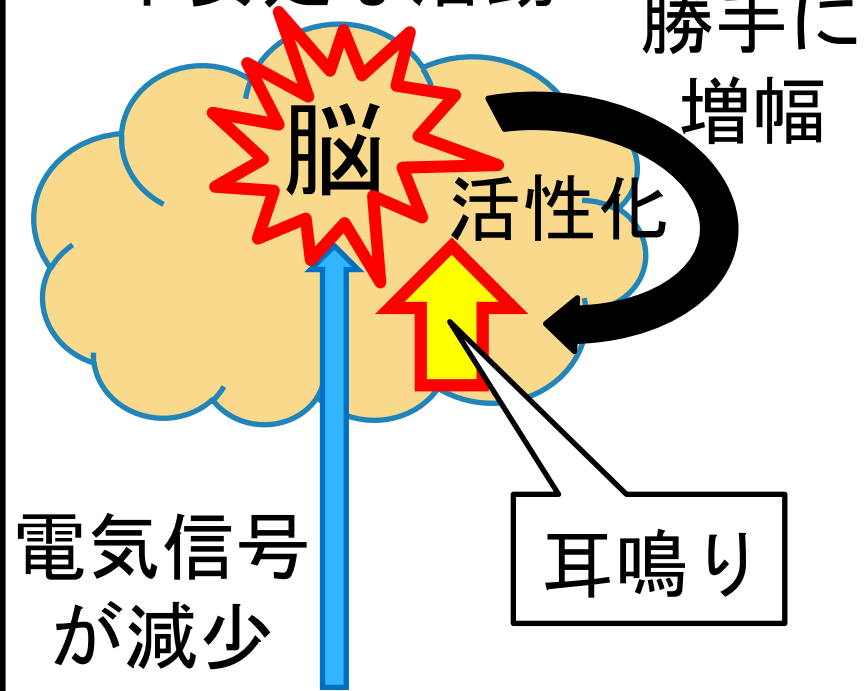
正常聴力の脳

安定した活動



難聴の脳

不安定な活動



脳は音の刺激が十分に届くことによって安定した活動ができます。**難聴**があると脳に届く電気信号が減り、脳は活性化してしまう。すると脳は電気信号を勝手に増幅してしまい、それが**耳鳴り**になっています。

脳は危険な音を意識に上らせる

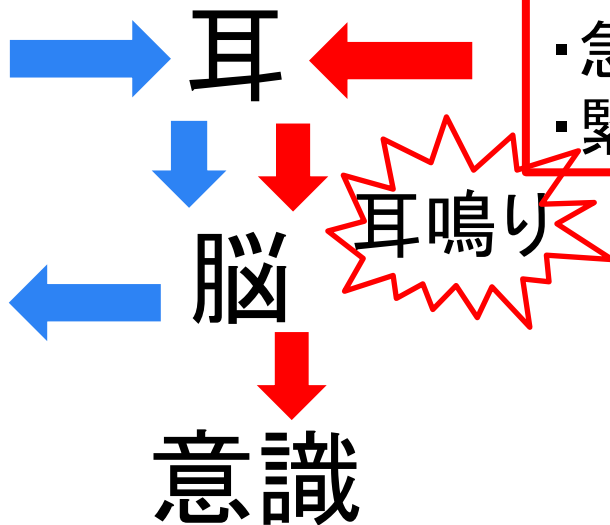
安全と
分かっている音

- ・空調や換気扇
- ・エンジン音
- ・お店のBGM

無視、意識外

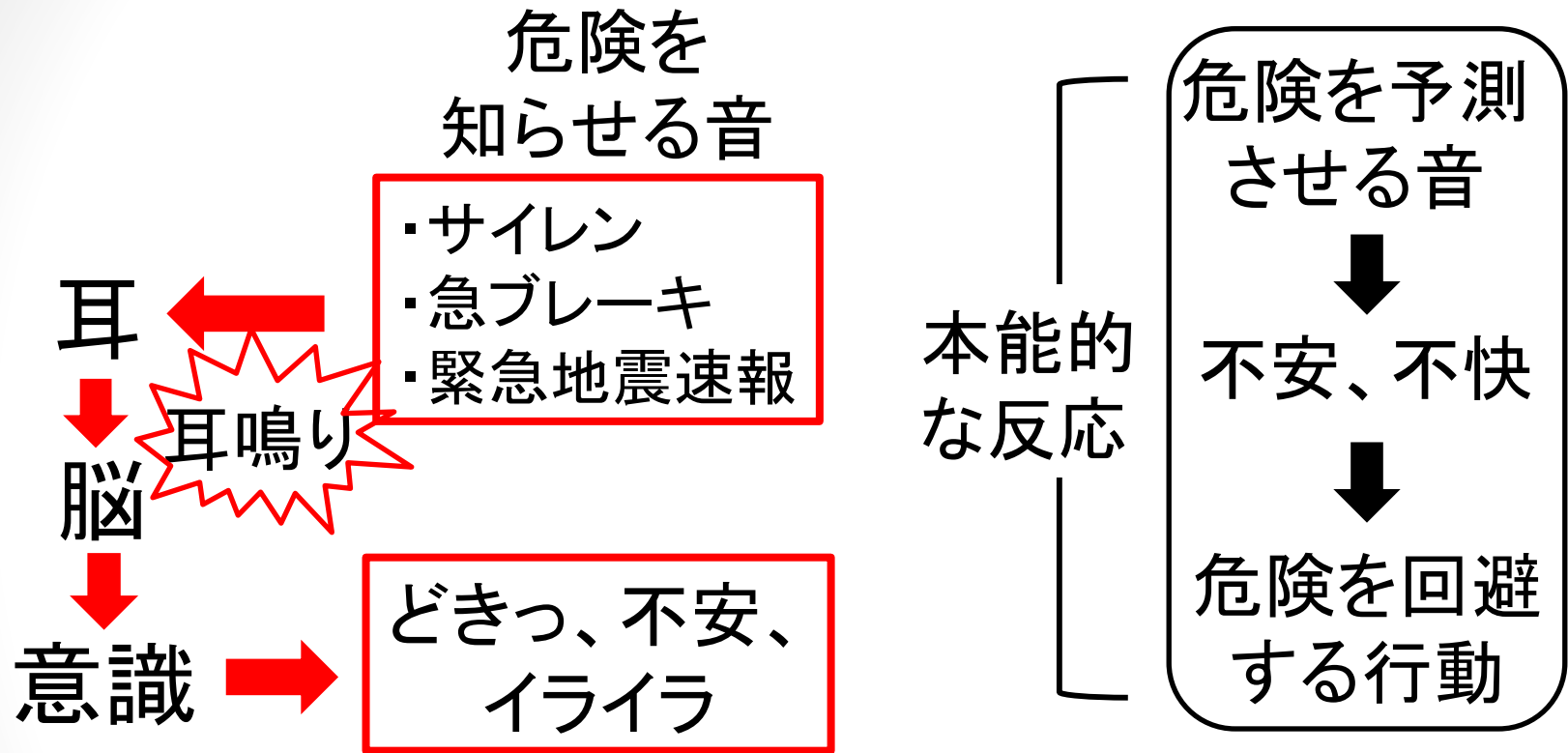
危険を
知らせる音

- ・サイレン
- ・急ブレーキ
- ・緊急地震速報



耳鳴りは今まで鳴っていなかった音が急に鳴り始めたので、危険な音と認識されています。すると脳は**わざ**と**意識に上らせ**、これが耳鳴りが気になる仕組みです。

どうして耳鳴りは辛いのか



脳は危険な音が意識に上がると、わざと不安な気持ちにさせたり、不快な気分させます。そうすることにより、危険を回避する行動をさせるのです。**耳鳴りが辛いのは脳が不安に、不快にさせているからです。**